



南部町立南部中学校 学校だより R7 第8号

城山の風

令和7年7月1日(火)
校長 樋口信也

1年生 ふるさと探訪

—南部町の歴史と文化を学ぶ—

6月12日(木)に1年生の校外学習「ふるさと探訪」を行いました。富沢小出身と睦合小・栄小出身に分かれ、富沢小出身の生徒は南部地区について、睦合小・栄小出身の生徒は富沢地区について学びました。

南部地区では、道の駅なんぶの南部氏展示室や諏訪神社、妙浄寺などを渡辺拓雄さんが講師として、富沢地区では、最恩寺仏殿や顕本寺、万沢口留番所跡などを佐野正剛さんが講師として、それぞれ案内や説明をしてくださいました。午後は合流して、アルカディア文化館で近藤浩一路氏と近藤喜則氏について、若林由美子さんと山本純司さんにお話をいただきました。

生徒は、小学生の時に、生活科や社会科で校区や町のことについて、また、青森南部交流の事前学習で南部氏について学習しています。そういう土台があり、その上に中学校で学習を積み上げることで、南部町についての理解と郷土を愛する気持ちを深めることができている。

1年生は、9月の輝城祭で令和元年度以来6年ぶりに内船歌舞伎をすることになりました。これらの活動がふるさとを誇りに思う気持ちにつながってくれたらと思います。



1年生 吟行

6月17日（火）に、1年生が国語の学習で吟行をしました。吟行とは、俳句や短歌をつくるために景色のよい所や名所などに出かけてゆくことです。南部中では、毎年あじさい祭りが行われているこの時期に内船公園に出かけています。まだ満開ではありませんでしたが、天気にも恵まれ、青空の下、きれいに咲くあじさいを見て俳句に使う言葉集めをしていました。



キャリア学習

2年生：職業ガイダンス 3年生：高校学習会

キャリア学習の1つとして、2年生は6月18日（水）に職業ガイダンスを、3年生は6月20日（金）に高校学習会を行いました。

2年生は7月2日（水）に職場体験学習を行います。その準備の意味も含め、働くことの意義（働くとはどういうことか）や社会人としての基本的なマナーについて、キャリアコンサルタントの川堀さんに教えていただきました。お辞儀の仕方や話の聞き方については実技形式で学びました。職場体験を前に、気が引き締まったことと思います。



3年生の高校学習会は、身延高校の有泉教頭先生と身延山高校の村松教頭先生においでいただきました。有泉教頭先生には、公立と私立、全日制・定時制・通信制など、高校の種類や制度のこと、また、高校と中学校との違いなどについて説明していただきました。村松教頭先生には、身延山高校の特色や学校生活の様子についてお話ししていただきました。進路選択をする上で高校のことをよく知っておくことはとても重要です。これから夏休みにかけてどの高校でもオープン

スクールが行われますが、この日の高校学習会は、高校を知る第一歩になりました。

キャリア学習は、突き詰めていけばどう生きるかということに行き着きます。社会の中で自己実現を果たし、自分らしく生きていけるよう、キャリア教育を進めていきます。